

チャレンジ

福島市立庭坂小学校第6学年通信

平成28年 1月21日

甲状腺検査出前授業

1月15日（金）に福島県立医科大学の先生方においていただき、甲状腺検査の目的と意味について授業を行いました。5年前に起こった原発事故で福島県に放射性物質が拡散した放射性ヨウ素を、体の中にどれ位取り組んでしまったのかを甲状腺検査で調べていることや、福島県と他の県との検査結果を比べても両方に目立った差は見られなかったこと等、グラフなどの資料を使い教えていただきました。保護者の方も子供たちもたいへん真剣に聞いていました。



甲状腺は、もともと食べ物などに含まれる、ヨウ素を集めてホルモンを作っています。しかし、原発事故で放射線を出す放射性ヨウ素も、体が区別できずに甲状腺に集めてしまうのです。

児童の感想

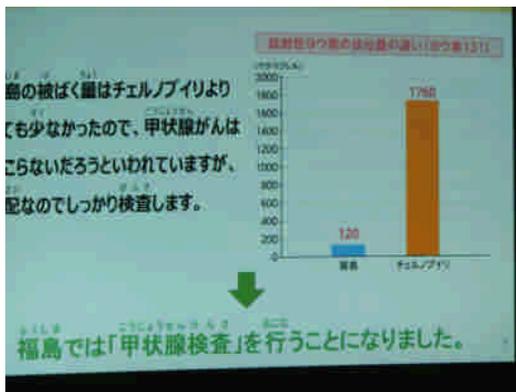
○ 甲状腺検査をどうしてやるのかを教えてくださいよく分かりました。

検査では、何を探しているの？

甲状腺検査では、甲状腺に「のう胞」「しこり」がないかを調べています。

児童の感想

- のう胞はがんにならないことが分かりました。
- 病気ではないので心配ないということが分かりました。



検査の結果で何が分かったのか。

福島県では、甲状腺の1回目の検査が終わりました。その結果、福島県と他の県とでは、差はほぼありませんでした。

また、福島の被ばくは、チェルノブイリの事故と比べてもとても少なかったため、甲状腺がんは起こらないだろうと言われています。しかし、福島県では、長く検査を続けてみんなの健康を見守っていきます。